

全国の社会福祉協議会災害ボランティアセンターご担当者様へ

被災者中心・地元主体・協働を実現する災害ボランティアセンターへ

研修・人材育成事業のご案内

平成 29 年 6 月 19 日

企画・実施：一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

協力：社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター

1. 背景・趣旨

「ボランティア元年」と言われた阪神・淡路大震災をきっかけに、様々な災害を経験するなかで、被災地の自治体ごとに社会福祉協議会（社協）が中心となり、災害ボランティアセンター（災害 VC）設置・運営することが一般化してきました。特に、東日本大震災後の災害 VC は行政による災害対応との連携・協働の事例も増え、ますます被災地での重要な役割が期待されるようになっていきます。

個人ボランティアや NPO、企業・事業所などの社会的資源を最大限に活用し、一人でも多くの被災者のニーズを解決することが災害 VC の役割です。しかしながら、過去当事者となった災害 VC に、運営ノウハウを持った人材と社会的資源が不足し、結果として本来解決できるはずの被災者のニーズに応えられなかった事例もあります。

全国社会福祉協議会（全社協）では平成 17 年以降、災害 VC のコーディネーター・運営者の養成を行い、都道府県社協や各市区町村の担当職員の研修を行っています。災害 VC が機能的に運営されるためには、さらにもう一步踏み込み、各市区町村単位での研修・人材育成が大切です。

本事業は、平成 29 年度「赤い羽根福祉基金」の助成と全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター（全社協）の協力を受け、一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター（PBV）が職員の講師派遣を行う研修・人材育成事業です。研修内容は、PBV が行ってきた被災地現場での支援活動や災害 VC 運営サポートの経験を対象・レベル・目的別にメニュー化していますが、各市区町村の災害 VC 準備状況に応じたカスタマイズを加えて実施していく予定です。

災害時にひとつでも多くの命・生活・尊厳を守るためにも、全国各地で、「被災者中心」「地元主体」「協働」を実現できる災害 VC の取り組みが広がっていくことを願っています。

2. 概要

- [実施期間] 2017 年 5 月～ 随時実施
- [対象] 全国の都道府県、市区町村社協
- [目的] 「被災者中心」「地元主体」「協働」を実現できる災害 VC の仕組みづくり・人材育成
- [実施内容] 各種、災害 VC に関連する相談、研修の講師派遣
- [研修効果] 災害 VC の運営者として動ける職員、ボランティアが生まれる
連携・協働できる地域の社会的資源との有機的なネットワークが生まれる
災害 VC に関する関係者全体で共通理解を持つことができる
災害 VC の設置運営マニュアルが実践的で役立つものに改善される など
- [受講対象] 全国の都道府県、市区町村社協の災害 VC 担当者
全国の市区町村社協の職員（災害 VC 担当者以外）、登録ボランティア
全国の市区町村の行政側担当者（防災課・危機管理課等）
全国の市区町村の NPO、自主防災組織等

3. 研修メニュー

主な研修メニューは以下の通り。その他、依頼元との相談の上、適宜カスタマイズして実施します。

	研修名・レベル	受講対象	時間	内容	教材 テキスト
1	災害ボランティア 入門講座 ＜初級＞	一般 登録ボラ 社協職員	2	災害ボランティアの活動の種類、心構え、安全管理などの基礎を学ぶ。講座＋グループワーク。	有 ブックレット： 700 円＋税／冊
2	支援を活かす地域力(受援力)ワークショップ ＜中級＞	一般 登録ボラ 社協職員	3～4	「ひと・もの・かね・情報」の分野で被災地でのニーズを知り、地域の社会的資源を探す。講座＋グループワーク。	有 冊子 1,000 円＋税／冊
3	災害 VC マッチングゲーム ＜中～上級＞	登録ボラ 社協職員 VC 担当者 NPO/NGO 等	3～4	被災者のニーズとボランティア・社会的資源をマッチングするシミュレーション体験。カードゲーム。	※開発・作成中
4	災害 VC 設置・運営シミュレーション 訓練 ＜中～上級＞	登録ボラ 社協職員 VC 担当者 NPO/NGO 等	半日 ～ 終日	実際の災害 VC の運営時に担当する各班・チームの訓練と発見した課題によるマニュアルの見直し。講師による講評など。	無

災害 VC に直接関係しない内容ですが、講師派遣が可能な研修メニューもあります。

	研修名・レベル	受講対象	時間	内容	教材 テキスト
5	わが家の災害対応ワークショップ ＜初級＞	一般 登録ボラ	1.5～2	災害発生から 72 時間における各家庭での具体的な災害への備えを知る。講座＋シート記入＋クイズ。	有 ワークブック 500 円(税込)／冊
6	災害ボランティア・リーダー研修 ＜中級＞	登録ボラ VC 担当者 NPO/NGO 等	2 日間	災害ボランティアリーダーとしての知識、安全管理やコミュニケーションスキル、リーダーシップを身に付ける。講義＋ディスカッション＋実技体験。	講習費：10 万円 ※時間による

※その他、災害時の困りごとへの判断力を身に着けるカードゲーム「クロスロード」、避難所の立ち上げ・運営を体験するカードゲーム「避難所運営ゲーム (HUG)」、講演形式での被災地での活動紹介などの講師派遣も可能です。

※この事業は、さらに各地で自主的な研修・人材育成の輪が広がっていくことを応援したいと考えています。上記研修メニューのなかで、講師養成のための研修についてもお気軽にご相談ください。

4. 研修依頼条件

- [内 容] 対象者やレベルに合わせて、上記研修メニュー1～6を決定します。
- [講 師] 被災地での支援経験を持つピースボート災害ボランティアセンター職員
- [形 式] 主にはプレゼンテーションとグループワーク形式の研修です。
- [時 間] 研修内容によって、所要時間が異なります。上記研修メニューを参考にしてください。
- [講習費] 社会福祉協議会及び非営利団体向けには、1時間3万円、2時間5万円程度を目安として講習費を設定しています。その他、研修内容によっては教材・テキストが必要になります。受講者から参加費・資料代等を徴収するなどの方法も含めご相談ください。
- [旅費交通費] 当団体規定による講師の旅費交通費のご負担をお願いしています。2時間までの研修は講師1名、3時間以上の研修は講師2名を基本で派遣しています。
※全社協が実施する災害VC運営者研修や類似の研修にご参加経験がある社協からの依頼の場合は、旅費交通費の免除制度があります。詳しくはお問い合わせください。
- [会場・備品] 会場の手配は、依頼元の主催団体をお願いしています。
5～6名が1グループで、長机と椅子を囲む島形式での実施スタイルがほとんどです。
また、プロジェクター等の備品の手配も依頼元の主催団体でお願いしています。
- [広 報] 参加者の募集や受講者へのご案内は依頼元の主催団体をお願いしています。
- [その他] 研修内容・時間のカスタマイズも可能です。お気軽にお問い合わせください。
大規模な災害が発生した場合など、被災地での支援活動との調整のため、実施日程の延期をお願いすることがあります。

5. 実施団体・担当者連絡先

一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

東日本大震災を契機に、阪神・淡路大震災以来培ってきたNGOピースボートの災害支援のノウハウを引き継ぎ設立した一般社団法人。「東日本大震災 東北での活動」「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を事業の柱としている。自然災害の被災地では、独自に災害ボランティアのコーディネートを行うほか、地元の社会福祉協議会と協力し災害VCの運営にも積極的に関わってきた。また、2011年11月に始めた災害ボランティアの人材育成研修、防災・減災教育プログラムには、これまでに全国で1万人以上が受講している。

防災・減災教育プログラム担当：垣貫紀彦、合田茂広

〒160-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1-2F-A

TEL. 03-3363-7967 FAX. 03-3362-6073

MAIL. training@pbv.or.jp (共通)

URL. <http://pbv.or.jp/>

※本事業は、平成29年度(第2回)赤い羽根福祉基金助成事業により実施しています。